

平成 21 年 9 月 25 日 第 2 校時

第 3 学年 C 級 (男子 19 名, 女子 20 名)

授業提案者

岩元 志穂



1 単元 オーケストラの豊かな響き

2 目標

- 曲想や旋律, 曲の雰囲気から楽曲の特徴を読み取る活動を通して, 意欲的に鑑賞する態度を育てる。
- 楽曲の旋律について理解し, その魅力を自分なりに表現することができるようにする。
- 楽曲の作曲者や構成についての学習し, 旋律の変化や楽器による音色の変化について理解する能力を育てる。
- オーケストラの豊かな表現や響きを味わい, 楽器の音色の変化を感じながら鑑賞ができるようにする。

3 指導観

- 本単元は, 学習指導要領の第 2 学年及び第 3 学年の共通事項の内容 (1) -ア「音色, リズム, 速度, 旋律, テクスチャ, 強弱, 形式, 構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受けること」をねらいとして設定したものである。

ここでねらいとする「音色, リズム, 速度, 旋律, テクスチャ, 強弱, 形式, 構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受けること」は大編成オーケストラの様々な楽器の音色やそれらの組み合わせによる重なり効果, 強弱の変化, リズムの反復などを聴取し, 音楽の諸要素と曲想の関わりを感じ取らせることであり, オーケストラによる幅広く豊かな響きや表現を味わわせることである。本単元で扱うバレエ音楽「ボレロ」は 1928 年にラヴェルがバレエ音楽として作曲した。ボレロは 18 世紀にスペインで発祥した舞曲である。ボレロ特有の 3 拍子のリズムが終始一貫してスネアドラムにより繰り返され, このリズムに乗って 2 つの旋律 (主題 A, B) が現れる。これらの旋律は形を変えずに様々な楽器や楽器群に受け継がれながら, 何度も規則正しく反復されていき全曲を通して音量や響きが徐々に増していく。単純明快な音楽の諸要素の働きや変化による曲想の変化などの起伏に富んだ演奏効果はこの楽曲の魅力である。

- 本学級の生徒は, これまでに音楽が表現する情景を想像しながら聴く学習, 弦楽器の音色や奏法の特徴をつかむ学習は行っている。しかし, まだオーケストラでの各楽器 (管楽器) に着目して聴くということを行っていない。また, さまざまな楽器の音色やその特徴, それらの組み合わせによって奏でられる効果, 幅広い豊かな響きを感じ取りながら聴くということはこれからの学習によるところが大きい。
- 本単元の前半の学習では導入として作曲者や楽曲などについての学習をし, 楽曲を鑑賞することで楽曲の持つ雰囲気や曲想と, 音楽の表現的な要素や構成などとの関わりを聴き取らせていく。そこで, 2 つしかない旋律がどういう効果をもたらすのかを感じ取る活動をすることで, この曲の魅力を感じとらせたい。また, 後半の学習においては, 様々な楽器が用いられ, それらを組み合わせることにより豊かな色彩になることについて触れさせ, 楽曲に対する理解を深める。実際に生徒の前で楽器を提示し, 教師が模範演奏をすることにより, 楽器に対するイメージを膨らませることができる。ワークシートを使い, 自分で楽器編成を考える活動を通して, それらの組み合わせによって奏でられる効果やラヴェルのオーケストレーションの素晴らしさを理解させたい。したがって本単元では, 「ボレロ」の魅力をも 2 つの旋律と楽器による音色の変化から味わわせたい。また, 2 つしかない旋律でも楽器や音量で響きが変わっていくことを知覚し, 楽曲の構成, 曲想の変化を味わい, 感じたことを発言したり文章にまとめたりすることができることの大切さについて学ぶ。そして, 楽曲を感じ取る活動を通してオーケストラの多様な表現や豊かな響きに

についての知覚、感受力をより深いものにし、その能力を日々の音楽活動へ結び付けていくために本単元を設定した。

4 教材 「ボレロ」(ラヴェル作曲)

5 指導計画

オーケストラの豊かな響き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・全2時間

(1) ボレロの2つの旋律の違いを感じ取る。—————1時間

(2) オーケストラの多様な楽器の特徴を知り、ボレロの曲趣の特徴とともに総合的に鑑賞する。

—————1時間(本時)

6 本時の学習指導

(1) 目標

- ラヴェルのオーケストレーションの素晴らしさを理解することができる。

(2) 資料及び準備

教科書、オーディオ機器、CD、DVD、トランペット、トロンボーン、フルート、バイオリン
楽器カード、目標カード、ワークシート、筆記用具、旋律A,Bの楽譜、ホワイトボード
ラヴェルの顔写真

(3) 学習指導過程

学習内容及び学習活動	指導上の留意点	時間
1 前時の復習をする。 ○ 2つの旋律A,Bについて ○ 作曲者について	○ 2つの旋律A,Bを確認するために、教師がトランペットで模範演奏する場を設ける。 ○ 前時に学習したことを思い出させるために、復習する場を設ける。	5分
2 本時の学習内容と目標を確認する。 ラヴェルのオーケストレーションの素晴らしさを知ろう。	○ 生徒が見通しを持ち学習することが出来るために、本時の学習内容及び本時の目標を確認する場を設ける。	7分
3 楽器の音色当てクイズをする。 ○ 4つの楽器の音色を聴く。 ・クラリネット ・ファゴット ・トロンボーン ・オーボエ ○ 実際に楽器に触れる。	○ 4つの楽器の音色を聴く場を設ける。 ○ 生徒が参加しやすいような雰囲気にするためにゲーム形式で行う場を設ける。 ○ 生徒に興味を持たせるために、実際に楽器に触れる場を設ける。	15分
4 「ボレロ」のオーケストレーションについて学習する。 ○ 7つの楽器をどのような順序で演奏するかを考え、ワークシートに記入する。 ・フルート、クラリネット、オーボエ、サクソ、ファゴット、トランペット、トロンボーン ○ ワークシートをもとに、2～3人のグループで話し合う。 ○ 考えた順序をグループごとで発表する。	○ 7つの楽器による音色の違いや特徴に着目して並び替えるように助言する。 ○ 感想や自分の意見を記入できるワークシートを準備する。 ○ グループ学習を取り入れることによって、意見交換する場を設ける。 ○ 他の生徒に分かりやすいように楽器カードを用いて、グループの意見を発表する場を設ける。	30分

5 「ボレロ」を全曲視聴する。 ○ 鑑賞のポイントを確認する。 ○ 気づいたことをワークシートに記入する。	○ 本時で学習した楽器による音色の違いに着目して聴くために、鑑賞のポイントを提示する。	45分
6 本時のまとめをする。 ○ この題材から学んだことを確認し、本時の反省及び感想を書く。	○ 本時の感想を、目標達成と自己評価をふまえて記入できるワークシートを準備する。	50分

7 板書計画

「ボレロ」

ラヴェルの顔写真

各楽器の写真

○ 今日の目標

ラヴェルのオーケストレーションの素晴らしさを知ろう。

主題 A

.....

主題 B

.....

生徒の意見

生徒の意見

ラヴェルの順番